

博物館だより

M U S E U M



博物館 TEL 63-1122

ムケの朔日

全国的に旧暦の6月1日を「ムケの朔日」と呼び、1年の後半期の初日として祝う風習があります。この日は、歯を丈夫にするために「歯固め」と称して、煎り餅や干し餅、正月から保存していた鏡餅を食べる例が多くみられます。

この風習の本来の目的は、鏡餅という神聖なものを口にして、邪霊や悪霊をはらうためのものであったと考えられています。昔の人々は、疫病や飢饉などの悪いことは全て、邪霊や悪霊が原因としていました。さまざまな方法で自身や周囲の生活を守ろうとしてきたのです。

本市の安代地区でも歯固めの風習はありましたが、一風変わっています。正月の鏡餅を「鬼の骨」と称して家族全員で食べ、食べ終えた後は、鏡餅を包んでいた藁ツトを屋根の上に投げます。これは、邪

霊や悪霊に強い鬼を倒して食べたことを見せつけることで、悪いことが寄り付かないようにしたものと考えられています。

西根・松尾地区では歯固めの風習が見られませんがムケの朔日に「桑の木に近づくと死ぬ」「人や動物、ヘビの皮がむける」などの言い伝えが残っています。なぜ歯固めの風習がなく、怖い言い伝えだけが残っているのか理由は定かではありませんが、ムケの朔日が特別な日であったことはうかがえます。

今年のムケの朔日は、7月21日です。風習に親しんで歯固めをしてみませんか。



藁ツトに包まれた鏡餅
『日本の民俗岩手』から転載

図書館だより

L I B R A R Y



図書館 TEL 75-1700

松尾コミュニティセンター図書室 TEL 76-3235

荒屋コミュニティセンター図書室 TEL 72-2505

◆図書館でボランティア活動をしませんか

より快適な環境づくりを目指して、ボランティアで活動してくれる人を募集しています。

■活動内容 ▶本のクリニック(本の修理) 毎月第3木曜日午前10時から午後3時▶本棚整理 毎週水曜日午後1時から3時▶お話室の壁面装飾 不定期(2、3カ月に1回程度)

見学もできますので、事前に問い合わせください。



赤ずきんちゃんの壁面装飾

◎イベントの予定はウェブサイトで確認できます

新型コロナウイルス感染症対策のため、イベントなどの予定を変更する場合は、図書館ウェブサイトに掲載します。

図書館ウェブサイト <http://hachi-lib.jp/>



◆新着ピックアップ

『料理はすごい』

著/秋元さくらほか、出版社/柴田書店

調理の工程が分かるように写真がたくさん掲載されている、子どものための料理本です。テレビに出ているシェフが考えた料理を作ってみよう！



『60分でわかる!サブスクリプション』

著/リンクアップ、監修/宮崎琢磨、出版社/技術評論社

動画配信やカーシェアリングなど、さまざまな業界で利用されている定額課金システム「サブスクリプション」。その仕組みをオールカラー図表で解説しています。

